

2022年度

豊橋技術科学大学大学院

【博士課程教育リーディングプログラム】

《学生募集要項》

2022年度博士課程教育リーディングプログラムに基づく、学生を募集します。

プログラムの概要

本プログラムは、産業界、海外連携拠点と連携し、人間の理解に立脚した新しい技術の地平を切り拓く博士人材「ブレイン情報アーキテクト」を養成することを目的として、大学院博士前期課程2年間と博士後期課程3年間の**博士課程5年間の一貫教育**を行います。本プログラムの養成しようとする「**ブレイン情報アーキテクト**」とは

- ・情報科学やセンシング技術を使って「脳を学び」、
- ・現在の技術では未だ創りだせない機能を「脳に学び」、
- ・高度知能処理や超省エネルギーシステムなどの革新的な「情報技術を創る」

能力を体得した博士人材を指しています。本プログラムはいわゆる脳科学分野のみを対象とするものではなく、

1. 脳情報などの大規模データ処理やシミュレーション、メディア・知識・知的処理などの**革新的情報技術**
2. 脳や生体活動の計測・記録、生体への刺激に関する**情報エレクトロニクス技術**や**新規材料技術**
3. 社会環境・住環境や人間-機械インターフェースの**脳工学的評価技術**
4. 脳や生体に学んだ**新たな制御技術**

など、脳を切り口として機械工学、情報エレクトロニクス、情報工学、社会・環境工学、生命工学などの分野をさらに深化させることができる人材を育成することを目的としています。

この目的達成のために、本学がこれまでに推進してきた21世紀COE、グローバルCOE、MOT人材育成、次世代シミュレーション技術者養成プログラムなどの様々な事業を通じて培ってきた先端科学技術教育を強化します。また、この教育プログラムでは、浜松医科大学、生理学研究所等を中核とする脳研究の最先端研究機関及び産業界との密接な連携により、脳科学の最先端から脳科学で得られた知見を活用した新技術や製品開発を念頭に置いた教育・研究活動を推進します。これらにより、ブレイン情報アーキテクトとしての能力と資質を併せ持つ博士人材を世界に先駆けて養成していきます。

本学大学院博士課程に設置されている全ての専攻（機械工学専攻、電気・電子情報工学専攻、情報・知能工学専攻、応用化学・生命工学専攻、建築・都市システム学専攻）への**入学・進学が内定している学生を対象**として募集します。

1. 募集人員

博士前期課程・博士後期課程：合計3名

2. 応募資格

以下の各号に該当し、2022年4月に大学院博士課程（前期・後期）1年次に入学・進学が内定している者とします。

専攻は、本学大学院博士課程に設置されている全ての専攻（機械工学専攻、電気・電子情報工学専攻、情報・知能工学専攻、応用化学・生命工学専攻、建築・都市システム学専攻）を対象とします。

- (1) 本学大学院博士前期課程（修士課程）修了後、本学博士後期課程進学を希望する者
- (2) 博士後期課程修了後、企業、官公庁、大学、国際機関など広く社会で活躍することを希望する者
- (3) ブレイン情報アーキテクトとして人間の理解に立脚した新しい技術分野の実現を目指す者
- (4) 国内外の大学・研究機関・企業等との研究連携の実績がある、または、見通しがある者
- (5) 学外から応募する場合は、上記(1)～(4)に該当し、且つ、現指導教員並びに本学指導予定教員から推薦が得られる者

※ 博士後期課程から本プログラムに応募する者は、大学院博士前期課程を修了見込みであるまたは修了していること、及び、ブレイン情報アーキテクトの育成に関連した学習・研究の実績を客観的に示すことができ国内外の大学・研究機関・企業等との連携実績があることとします。

3. 応募受付期間

2022年2月25日（金）～2022年3月4日（金）17時まで【期限厳守】

4. 応募手続

学内の応募者は、以下の応募書類を取りそろえて、3. 応募受付期間内（期限厳守）に、リーディングプログラム推進室事務局（C棟203号室）に直接持参し、提出してください。（原則、郵送は受け付けません。）

受付時間は、9時00分～12時00分及び13時00分～17時00分までです。

※ ただし、学外からの応募者は、郵送でも受付を行います。【3. 応募受付期間】内必着とし、受付期間後に到着したものは受理しません。

※ やむを得ない理由により直接持参できないまたは期限に間に合わない等の懸念がある場合は、事前に【10. 本件担当・連絡先】にご相談ください。

- (1) 申請書（指定様式、A4で両面印刷すること）
- (2) 学部1年次入学者 学部1～4年次までの成績証明書
学部3年次入学者 大学編入以前の出身学校の成績証明書及び学部3・4年次の成績証明書
- (3) 指導教員の推薦書（記入後、厳封のこと）
- (4) 入学料・授業料の支払いに関する確認書
- (5) （博士後期課程から本プログラムへの応募者のみ）業績リスト（予定を含む）および博士前期課程1年次及び2年次前期の単位修得表

※ 学外からの応募者は、提出書類の確認を行いますので、事前に必ず【10. 本件担当・連絡先】に問い合わせください。

(注) ① 申請書及び指導教員の推薦書は、ホームページ【<http://brain.tut.ac.jp/>】からダウンロードして作成してください。

② 一度受理した応募書類は返還しません。応募書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、申請書「申請者欄」の現住所・電話・E-mailに変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

③ 必要に応じて応募者に、追加の情報を求める場合もあります。

④ 本プログラムへの応募に対する費用は発生しません。

5. 選抜方法

- (1) 選抜は、提出書類及び面接による総合判定により行います。
- (2) 面接の日時及び場所
2022年3月11日（金）
上記の日のうち指定した時間及び場所（オンラインで実施の可能性もあり）
※面接では、自身の研究内容と本プログラムでの抱負を発表していただきます。

6. 合格者の発表

2022年 3月14日（月）10時00分

合格者は、ホームページ【<http://brain.tut.ac.jp/>】により発表するとともに、文書でも通知します。
本プログラムへの参加手続き等の詳細については、合格通知と併せて連絡します。

7. 経済的支援

本プログラムに合格し、正規履修学生となった者は、以下のとおり経済的支援を受けることができます。

- (1) 入学料及び授業料等
入学料及び授業料を全額免除します。
- (2) RA雇用
博士前期課程学生はリサーチアシスタント（RA）として雇用し、最大月額 50,400 円（源泉徴収前）を支給します。
- (3) 奨学金
博士後期課程学生は月額 100,000 円の奨学金（非課税）を支給します。
奨学金の支給は、「リーディングプログラム奨学金実施要項」等に基づいて、毎年、審査により決定されます。
- (4) 教育研究経費
教育研究費は、本プログラムの履修学生が、独創的な教育研究活動を行うことを支援し、学修及び研究を奨励することを目的として支給します。
教育研究費の支給は、「リーディングプログラム教育研究費取扱要項」に基づいて、毎年、審査により決定されます（最大年額 100,000 円）。

なお、大学の財政上、上記の支援内容については変更されることもあることをご了承願います。

8. 注意事項

- (1) 本プログラムに合格した後、応募書類に虚偽の記載があった場合は、合格が取り消されることがあります。
- (2) 応募に当たって提供された住所・氏名・生年月日、その他の個人情報、選抜、選抜結果の通知及びプログラムへの参加手続き等、必要な手続きを行うためにのみ利用されます。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

9. プログラム説明会

本プログラムの説明会を以下のとおり開催しますので、応募希望者は参加してください。
また、本プログラムに興味のある方も参加してください。

2021年11月25日（木）10時30分から

オンライン開催（詳細はホームページ【<http://brain.tut.ac.jp/>】で案内します）

10. 本件担当・連絡先

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
国立大学法人豊橋技術科学大学 リーディングプログラム推進室事務局
電話番号：直通 0532-44-1028（内線 5343）・FAX 番号：0532-44-1562
E-mail：leading@office.tut.ac.jp

2022年度博士課程教育リーディングプログラム実施内容

1. リーディングプログラムの独創的カリキュラム

【博士前期課程1年次】

《共通科目》 必修1単位

ブレイン情報アーキテクト科目 ブレイン情報概論（浜松医科大学の授業）

《専攻共通》 必修2単位

ブレイン情報アーキテクト科目 脳科学インターンシップ（浜松医科大学・さわらび会での実施）

《専攻共通》 必修1単位

ブレイン情報アーキテクト科目 グローバルサマースクール

【博士後期課程2年次】

《専攻共通》 必修6単位

ブレイン情報アーキテクト科目 博士後期課程実務訓練（国内外大学・研究機関・企業へ6ヶ月間）

2. カリキュラム等の実施状況報告

① ブレイン情報概論・脳科学インターンシップ（浜松医科大学）



② グローバルサマースクール（マレーシア） ※2022年度はオンライン開催の可能性もあり



② バトンゾーン特論・スーパーリーダー塾

